

インドネシア国内の高等学校で教えている日本語文型の再考

バンバン・エコ・スギハルタディ (元筑波大学教員研修留学生)

井上里鶴 (筑波大学大学院生)

酒井たか子 (筑波大学)

1. 本研究の目的

現在、インドネシアの初等教育から高等教育までの教育政策は、2013年に発表された新カリキュラム(以下、2013年カリキュラム)によって規定されている(国際交流基金2015)。2013年カリキュラムでは、21世紀型スキルの獲得をめざした学習活動が奨励され、外国語科目の目標には「21世紀のグローバル化時代に対応するため、早い時期から世界の言語と文化に触れさせる」(国際交流基金2014)ことが挙げられている。2013年カリキュラムのシラバスの改定に伴い、学生にとって必要な日本語能力は、「JFスタンダードのA1レベルのやりとりができること」となった。そこで、現場の教師は、教育政策及び改訂されたシラバスに則った授業を展開していくことが求められている。

高等学校で教えている「日本語」においても、「早い時期から世界の言語と文化にふれさせる」ということで、ますます重要さが増してきている。また「A1レベルのやりとりができること」を目標にする場合、現在使われている教科書を見直す必要がある。本研究では、現場での新カリキュラムへの移行を見越して、特に教科書の文型に着目し、現在使われている4種類の教科書で扱われている文型項目の調査と、教師と生徒へのアンケート調査を行い、今後授業に組み込むとよいと思われる文型について検討した結果を報告する。

2. 調査方法と結果

2.1 調査1: 現行教科書の文法項目数

調査方法: 現在、インドネシア国内の高等学校では、旧シラバス(2006年カリキュラム)で作成された教科書を用いて教えているケースが多い。現状で広く使われている教科書を取り上げ、そこで扱われている文型項目数について調査を行った。分析対象とした教科書は以下の4種であり、全て旧シラバス(2006年カリキュラム)に基づいて作成されたものである。

『さくら』(ジャカルタ国際交流基金2009)

『なかよくにほんご』(Rizki Press 2011)

『Bahasa Jepang untuk SMA』(Arya Duta 2011)

『日本語まなぼう』(Grafindo Media Pratama 2012)

続けて、JFスタンダードに基づいて作成された『まるごと』(国際交流基金2015)の内容との比較検討を行った。

調査結果: 教科書により、課の数や、一つの課で扱う文型項目数に、大きな違いが見られた。表1に、各教科書に載っている文型項目の数を学年別および合計で示した。文型項目数の合計をみると、一番少ない『さくら』は79項目、一番多い『Bahasa Jepang untuk SMA』は176項目であり、二倍以上の開きがあることが分かる。この数は、取り扱っている文型の多少のほか、一つの

文型項目をどのように考えるかが異なることも原因として挙げられる。例えば、「これは なんですか。」を、1つの文型項目として扱っている教科書（『日本語まなぼう』）もあれば、複数の項目に分けている教科書（『Bahasa Jepang untuk SMA』）もあり、著者の意図が反映されている。

表1 各教科書の文型項目数

教科書名	さくら	なかよく にほんご	Bahasa Jepang untuk SMA	日本語 まなぼう
著者・出版社 (出版年)	ジャカルタ 国際交流基金 (2009)	Rizki Press (2011)	Arya Duta (2011)	Grafindo Media Pratama (2012)
文型項目数 (1年生)	27	46	63	52
文型項目数 (2年生)	28	39	75	64
文型項目数 (3年生)	24	35	38	46
文型項目数 (合計)	79	120	176	162

次に、これらの教科書で扱われている文型項目を『まるごと』と比較した結果を表2に示す。『まるごと』入門では55項目、『まるごと』初級1では74項目取り上げられている。上記の4種類の教科書すべてに含まれていた文型項目は83項目あったが、その内訳は『まるごと』入門(A1)の内容が47項目、『まるごと』初級1(A2)の内容が36項目であり、『まるごと』初級1の74項目のうち約半数が含まれていたことが分かった。

表2 『まるごと』の文型項目数および4種類の教科書すべてに含まれる文型項目数

	『まるごと』入門 (A1)	『まるごと』初級1 (A2)	『まるごと』 合計
『まるごと』の文型項目数	55	74	129
4種類すべての教科書に含まれる文型項目数	47	36	83

一方、『まるごと』に含まれる文法項目のうち、4つの教科書のいずれかで取り扱われていない項目は、『まるごと』入門(A1)の8項目、『まるごと』初級1(A2)の38項目、合計46項目あることが分かった。

2.2 調査2：文法項目に関するアンケート調査

調査2では、調査1で見い出された現行の教科書で扱われていないケースのある文型項目について、インドネシア国内の高等学校で日本語を教えている教師および日本語を学習している生徒を対象にアンケート調査を実施した。

調査方法：『まるごと』入門、および初級1に含まれるが、4種類の教科書で扱っていないケースが含まれる文型の46項目に対し、教師に対しては教師が授業で扱ったことがあるかを記述してもらった。また生徒に対しては、同じ項目を学んだことがあるかを記述してもらった。調査は2015年8月に実施した。調査対象者は、西ジャワ教師評議会に所属している日本語教師56名、3都市

の3つの高等学校に在籍する3年生123名である。3年生の日本語の授業時間は、年間150時間以上である。なお、各学校の日本語の授業は、既に2013年カリキュラムで行われているが、使用されている教科書は旧シラバス（2006年カリキュラム）に基づく『さくら』であり、副教材も同様であった。学校別の生徒の内訳を表3に示す。なお、2013年カリキュラムでは高等学校のクラスは「専門クラス」と「クロス関心クラス」に分けられている。「専門クラスは」、科学科、社会科、言語科があり、受験する大学に求められる科目や、生徒自身の興味や能力に合わせて選択するクラスであり、クロス関心クラスというのは、自分の専門以外の科目も学べるようになっているクラスである。

表3：3つの高校の生徒の概要

高校名	対象者数	対象者の所属クラス	一週間の学習時間
A高校	79名	クロス関心クラス	45分×4コマ
B高校	11名	言語専門クラス	45分×6コマ
C高校	33名	言語専門クラス	45分×6コマ

調査結果：46項目中、日本語教師が「教えたことがある」、生徒が「学んだことがある」という答えが多かったものを14項目取り上げ、表4に示す。教師が「教えたことがある」と答えた割合が6割を超えた文型は5項目、生徒が「学んだことがある」と答えた割合が6割を超えた文型は11項目に上った。また、両者を比較すると、教師が「教えたことがある」回答よりも、生徒が「学んだことがある」と回答している項目が多く、差の大きい順に、14番、13番、12番、10番である。反対に、教師が「教えたことがある」回答が、生徒の「学んだことがある」回答より多かったのは2番と1番の2項目のみであった。

3. 考察

表4で取り上げた、教師が「教えたことがある」、生徒が「学んだことがある」と答えた割合の高い文型項目については、今後日本語を教える上で積極的に教材に組み込み、授業に取り入れるとよいと考える。具体的な例を挙げると、動詞の活用として「て形」を教える際に、現在「～てください」だけを扱うのではなく、12番の依頼表現の「～てくださいませんか」も関連して教えることで、大きな負担なく取り入れられるのではないだろうか。また生徒の「学んだことがある」の回答が教師の「教えたことがある」の回答よりも高い項目は非明示的に学べる可能性としても考えられる。教師は生徒の学習の状態を考慮し、現行の教材を生かしながら2013年カリキュラムへの対応を進めていくとよいと考える。

4. まとめと今後の課題

現在インドネシアの高校で扱っている教科書の文型項目の数は、『まるごと』や他国の中等教育の教科書と比較して十分とは言えず、今後、増やしていく必要があると考える。本研究は、現行の日本語授業で扱われている文型項目と『まるごと』の比較から見出された項目に関してアンケート調査を行ったが、ここで得られた結果は今後、授業に組み込むとよい文型についての資料になると考える。本調査結果をもとに、インドネシア国内の高等学校で教えているシラバスや日本語教材の見直しを行っていききたい。

表4：教師が「教えたことがある」、生徒が「学んだことがある」と答えた割合が高かった文型項目

番号	文型	例	教師が「教えたことがある」と答えた割合	生徒が「学んだことがある」と答えた割合
1	移動の着点を表す格助詞「に」	えきで でんしゃに のります。	78.6%	63.4%
2	言いさしによる理由の述べ方	はやいですから。	67.9%	43.1%
3	時間を表す「名詞＋～のとき」	こどもの とき、よく 日本の アニメを見ました。	66.1%	65.0%
4	順序を表す「名詞＋～の前に」	朝ごはんの 前に、さんぼを します。	64.3%	84.6%
5	変化を表す「な形容詞＋～なる」	こうえんが きれいに なります。	62.5%	71.5%
6	な形容詞の否定形「～じゃない」	やさいは すきじゃないです。	57.1%	70.7%
7	順序を表す「名詞＋～の後で」	朝ごはんの 後で、仕事を します。	55.4%	68.3%
8	動詞の名詞化「動詞＋の」	中国語は 話すのが おもしろいです。	51.8%	69.1%
9	名詞修飾	朝ごはんを 食べる 人は 20 人です。	46.4%	69.1%
10	方法を表す「マス形＋かた」	この かんじの 読みかたが わかりません。	39.3%	69.9%
11	い形容詞の取り立て表現	私は あついのは 好きじゃないです。	33.9%	64.2%
12	依頼表現「～て動詞＋くださいませんか」	この ことばの いみを おしえて くださいませんか。	33.9%	69.1%
13	逆接を表す「名詞＋～じゃなくて」	左じゃなくて、右です。	28.6%	69.9%
14	逆接を表す「い形容詞＋けど」	この ゆうえんちは たのしいけど、高いです。	17.9%	60.2%

【参考文献】

- インドネシア教育文化省 (2016) 「新カリキュラムのシラバスの改訂版(2016年1月22日)」
- 国際交流基金 (2013) 『まるごと 入門 A1 りかい』三修社
- 国際交流基金 (2014) 『まるごと 初級 1 A2 りかい』三修社
- 国際交流基金 (2014) 『まるごと 初級 2 A2 りかい』三修社
- 国際交流基金 (2014) 「国際交流基金日本語国際センター25周年記念シンポジウム:21世紀の人づくりをめざす ASEAN 各国の教育最前線～中等教育の外国語教育が果たす役割～」配布資料
- 国際交流基金 (2015) 『まるごと 初中級 A2/B1』三修社
- 国際交流基金 (2015) 「21世紀の人材育成をめざす東南アジア5カ国の中等教育における日本語教育—各国教育文書から見える教育のパラダイムシフト—」国際交流基金日本語国際センター
- Adimihardja, M. (2012) 『にほんごまなぼう』 Grafindo Media Utama
- Japan Foundation (2009) 『さくら』 The Japan Foundation Jakarta
- Sugihartadi, B.E. (2011) 『なかよくにほんご』 Rizki Press
- Yuniarsih. (2011) *Bahasa Jepang Untuk SMA*, Arya Duta